

第3回総務経済常任委員会・厚生文教常任委員会 合同委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和4年3月17日（木曜）		9時30分 開会	
	休憩 9:48-55 10:28-45 11:11-15			
	12時02分 閉会			
	休憩時間：0時間28分		会議時間：2時間24分	
会議場所	役場3階委員会室<オンライン出席者（O）>			
出席委員 氏 名	委員長 鈴木健充	委員 渡辺洋一郎	委員 西尾一則（O）	
	委員 梶澤幸治（O）	委員 黒田栄継	委員 常通直人	
	委員 立川美穂（O）	委員 橋本和仁（O）	委員 中田智恵子（O）	
	委員 中村和宏	委員 堀切 忠（O）		
	委員 寺町平一	委員 正村紀美子（O）		
	委員 広瀬重雄（O）	委員 柴田正博（O）	議長 早苗 豊（O）	
説明員				
参考人				
欠席委員 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田敦史	総務係長 佐藤史彦	総務係主査 上田瑞紀	
<p>1 開 会</p> <p>鈴木委員長が開会を告げ、当委員会はオンライン会議（議会委員会条例第13条の2）である旨を説明し、委員9名及び議長のオンライン出席を報告した後、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件</p> <p>（1）調査事項</p> <p>ア 第5期芽室町総合計画前期実施計画の検証について 資料1</p> <p>・委員長：本日の調査事項の論点について、最初に共通認識を図る。「町の総合計画と議会との関係」及び「これまでの2度の合同委員会の経過」について確認する。</p> <p>初めに、「町の総合計画と議会との関係」について確認する。議会基本条例第14条では、議決事件の拡大として「総合計画の基本構想及び実施計画」を規定していることから、後期実施計画策定にあたり、町からの提案に基づき議会が審議することになる。なお、町の策定スケジュールは、当初通り、令和4年町議会定例会9月定例会議最終日が提案予定となっている。</p> <p>次に、「過去2回の合同委員会の経過」について確認する。過去2回（令和3年6月16日及び11月10日開催の合同委員会）の会議結果では、議会としては、本年2月までに前期計画の評価を所管委員会で調査し、その結果を踏まえて、町が5期総の素案を提示する合同委員会で議論する手順と決定していることを確認したい。</p>				

そこで、本日は、前期計画の検証を両委員会で終えたことから、その結果について確認、討議を行い、議会（委員会）としての考え方をまとめることとしたい。また、今後のスケジュールとしては、3月23日の本会議終了後の合同委員会において、町から後期実施計画の素案が示される。町のスケジュールは、合同委員会の内容を踏まえ、素案を総合計画審議会に諮り、パブリックコメント、議会提案と進んでいくので、議会（委員会）としての考え方を反映していくためにも、本日と次回の合同委員会は重要なものになるという共通認識を図りたい。

本日の進め方は、まず、34の施策すべての大きな方向性については、両委員会ともに「概ね正しい」としているのので、最初にこの確認をする。次に施策ごとに「各議員から出された意見（以下「議員意見」という。）」については、昨日、両委員会の正副委員長が「議員意見を現行施策に分類整理（以下「分類整理」という。）」したので、その分類整理が、重視すべき視点か否かの議論をし、次回合同委員会で示された素案で読み取ることができるか、不足はないかなどの質疑につなげていきたい。

- ・委員長：それでは、本題の調査事項「ア」の資料を説明する。
- ・総務係長：資料説明（両委員会で所管別に整理した34施策のまとめ、参考資料として施策評価シート、総合計画施策体系）
- ・委員長：最初に34の施策について、全て、「施策の課題認識と方向性は概ね正しい」との両委員会の結論が出されている。この点について、各委員会のまとめのとおりで意見・質疑はないか。
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：異議なしと認め、決定する。

- ・委員長：次に、議員意見について施策ごとに議論を進める。「1-1-1 担い手育成と農業の応援団づくり」。議員意見を施策の内容に基づき、分類整理した。議会として注視すべきか、計画に記載すべきかという視点で、意見を伺いたい。
- ・立川委員：議論の前段として確認したい。次回の合同委員会には、本日の資料の分類整理が出され、議員意見は出ないということか？
- ・委員長：お見込みのとおりである。
- ・立川委員：後期計画には、この施策について「男女共同参画」という文言を加えるべきと考えている。意見は反映できないのか？
- ・広瀬委員：議員意見は尊重されるべきであり、合同委員会で町の考えを聴く機会は確保すべきでないのか。
- ・総務係長：資料の位置付けについて説明する。本日の資料は、この体裁で次回の合同委員会に提示するものではなく、施策に対する議会（委員会）の方針を内部で文書化して共有しようとするものである。本日の会議を含めて、本町議会においては公式な会議及び委員会等は資料を含めて公開している。そのため、町はこれらの情報も踏まえて後期計画の素案作成することから、議員意見は尊重されていると考えている。
- ・広瀬委員：事務局説明について理解はできるものの、（ここに記載された）議員意見

は、まとめられることなく、町に直接主張すべきではないか？

- ・梶澤委員：後期計画の素案協議に係る合同委員会においては、委員会としての意見を主張するのではなく、議員意見を主張する認識でいるが、いかがか？
- ・委員長：両委員会において、前期計画の検証により出された意見を、正副委員長が現計画の施策の見直しとして、文書に反映すべきか否かのたたき台として整理したものが、本日の手元の資料である。
- ・梶澤委員：改めて整理すると、本日の議論は、議員意見の趣旨を総論として施策でどのように展開するかということであり、議員個々の意見を計画に記述するか否かの議論の場でないと受け止める。
- ・常通委員：次回の合同委員会に臨む上で、一定程度議会としての意見をまとめる場がこの場だと解している。
- ・梶澤委員：今日の議論は、手元の資料に加えて新たな意見を出し、さらに、施策として整理していく場として共通認識を図りたい。
- ・柴田委員：議会として、まとめる必要はないと考える。議員意見を町に対して主張し、その結果、町がどのように捉えて後期計画に溶け込ませているのかを確認し、議論していけば良いのではないか？
- ・広瀬委員：同感である。議員の意見をまとめる必要はないと考える。
- ・梶澤委員：私も同感である。議員個人の声を議会としてのひとつの意思にまとめる必要はないと考える。
- ・委員長：本日提案している議論の手順は、前回までの合同委員会の議論結果を踏まえていることを御理解いただきたい。前回の会議録では「(常任)委員会において、後期計画に向けて調査し、委員会で検証すべきこと、町へ調査することを整理して取り組むべき」として全会一致となったことから、委員会としての一定の考え方を整理する議論を提案しているものである。
- ・議長：本日の議論の進め方について、いろいろと意見があるが、この資料は町に出す、出さないというものではなく、議会内の資料であり、これまでの合同委員会の経過を踏まえて、個別の意見を一定まとめる方向で進めていただきたい。
- ・中村委員：本日は、特に所管外の施策の評価について、総合的に整理する場と考える。
- ・渡辺委員：昨日、両委員会の正副で議員意見を一つ一つ確認し、その趣旨が現行計画のどの施策に位置付けられるか分類させていただいた。これは「まとめ」をしたのではなく、あくまでも、現行計画の施策のどこに位置付けられるかを整理・分類したものであることを御理解いただきたい。
- ・立川委員：議員意見については、次回合同委員会での発言は可か？
- ・委員長：お見込みのとおりである。
- ・広瀬委員：本日の議論に際して各委員のニュアンスが微妙に違う気がする。今日は、所管外の施策について意見をやる場なのか？正副で整理した文言は「まとめ」ではなく「現行計画での位置付けを整理した」ことなのか？最初にこの目線をしっかりと整理すべきである。
- ・梶澤委員：前回（5期総の策定当初）の検討手順との違い、今回の資料の位置付け、

まとめの意味、追加議論の定義など明確に整理して共通認識を図ってから議論をすべきではないか。

- ・総務係長：各議員からの意見を踏まえて改めて本日の議論趣旨を説明する。今回の議論は前回（5期総策定時）とは異なり、5期総の中間点検のため委員会として所管施策を検証した手法であること。また、今回の資料は内部の共通認識の目的であること。分類整理は「まとめ」ではなく、議員意見の趣旨を現行計画の施策に位置付けたこと。さらに、所管外の施策については新たな意見をいただき、議員間討議により施策への位置付けの是非や要否を決することである。
- ・委員長：それでは、個別施策の協議に入る。「1-1-1 担い手育成と農業の応援団づくり」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：記載の整理で決定する。
- ・委員長：「1-1-2 農業生産性の向上と経営基盤支援」、「1-1-3 農地・土地改良施設等の整備・充実」、「1-1-4 地域林業の推進」の議員意見はないが、意見はないか？
- ・（意見なし）
- ・「1-2-1 地域内循環の推進と商工業の振興」についていかがか？
- ・橋本委員：空き家対策については、強化すべきと考えるがいかがか？
- ・委員長：「5-1-2 住民自治の実現と地域の活力の維持」の施策に位置付けた。
- ・立川委員：分類に該当されていない「起業支援にあたっては、地域内で消費されるものを地域内でつくる地消地産の取組みも必要」は、地域内循環の意味で記載したところであるが、いかがか。
- ・梶澤委員：改めて本日の議論の趣旨を確認したい。今日は各議員の意見を分類整理すべきか否かの議論なのか？
- ・委員長：お見込みのとおりである。
- ・立川委員：「起業に対する支援」として分類していただきたい。
- ・堀切委員：立川委員の意見に賛成する。
- ・委員長：「1-2-2 地域資源を活用した観光の振興」についていかがか？
- ・立川委員：「対話の深化」について「新嵐山スカイパークの基本方針」に位置付けていただきたい。
- ・委員長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：他にないか？
- ・橋本委員：「大規模投資計画を持つべきではない。」という意見があるが、真意を確認したい。
- ・寺町委員：過大な予算となることから、これ以上の投資を了解することは困難であるという意思である。
- ・橋本委員：現在提示されている予算内なら是であり、それを超える部分は非ということか？
- ・寺町委員：今後の整備に係る経費執行に懸念があるということである。
- ・委員長：「2-1-1 学校教育の充実」についていかがか？

- ・立川委員：「ICT面の健康不安」とは、どのような意味か？
- ・渡辺委員：PTAとの意見交換で出された視力や姿勢の問題を示したものである。
- ・委員長：「2-1-2 社会教育の推進」について、いかがか？
- ・梶澤委員：「CS」と「地域学校協働活動の推進」との関連はあるが、タイトル自体に「CS」を表記すべきと考えるがいかがか？
- ・渡辺委員：施策「2-1-1（5）」に「CS」は明確に位置付けられている。
- ・梶澤委員：令和3年度は学校教育分野で位置付けられ、令和4年度以降は生涯学習分野となるので、施策「2-1-2」で整理すべきと考える。
- ・渡辺委員：「CS」を重視し、施策で位置付けることを共通認識としたい。
- ・委員長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：「2-2-1 地域文化の振興」について、いかがか。
- ・（意見なし）
- ・委員長：「2-2-2 スポーツしやすい環境づくり」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「3-1-1 生涯を通じた健康づくり」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「3-1-2 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「3-2-1 安心して生み育てることができる子育て支援」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「3-2-2 子育て環境の充実」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「3-3-1 地域で支え合う福祉社会の実現」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「3-3-2 高齢者福祉の充実」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「3-3-3 障がい者の自立支援と社会参加の促進」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「3-4-1 互いに認め合う地域社会の形成」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「4-1-1 災害に強いまちづくりの推進」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「4-1-2 消防・救急の充実」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「4-1-3 防犯対策と交通安全の推進」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「4-1-4 消費者の安全・安心の確保」について、いかがか？
- ・（意見なし）

- ・委員長：「4-2-1 有効な土地利用の推進」「4-2-2 快適な住環境の整備」「4-2-3 道路交通環境の整備」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「4-3-1 景観の保全とクリーンエネルギーの推進」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「4-3-2 廃棄物の抑制と適正な処理」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「4-3-3 上下水道の整備」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「5-1-1 徹底した情報共有と町民参加の促進」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「5-1-2 住民自治の実現と地域の活力の維持」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「5-1-3 国際・地域間交流の推進」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「5-2-1 効果的・効率的な行政運営」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「5-2-2 健全な財政運営」について、いかがか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：「5-2-3 親切・便利な行政サービスの推進」について、いかがか？
- ・常通委員：先日、所管委員会において庁舎整備事業完了の説明があった。ついでには後期計画の施策について注視していくべきと考える。
- ・黒田委員：火葬場や合同納骨塚がこの施策に含まれる。議会の重点事項として取り組んでいくべきと考える。
- ・委員長：全体を通していかがか？
- ・立川委員：「3-2-1 安心して生み育てることができる子育て支援」について、貧困対策調査を町に求めたい。
- ・委員長：後期計画の施策でも継続されると思われることから、次回、合同委員会で意見していただきたい。
- ・渡辺委員：ただ今の意見を資料に追記したい。
- ・委員長：34の施策すべてについて確認を終えた。次回の合同委員会においては、本日の視点を踏まえて十分な調査をお願いする。以上で調査事項「ア」を終わる。

- ・委員長：その他に進む。次回委員会開催日程は3月23日、本会議終了後となるので出席いただきたい。
- ・委員長：委員から何かありませんか。
- ・委員長：議長から。
- ・議長：今日の議論のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて調査に臨んでいただきたい。
- ・委員長：事務局から

・委員長：以上で、第3回合同委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	名	議員	0名	合計	名
------	-----	----	-------	---	----	----	----	---

令和4年3月17日

総務経済常任委員会委員長 鈴木健充